

第一専攻科 ブログ

第一専攻科 文化祭を開催いたしました。

期 日：令和2年9月29日（火） 10：25～15：45

場 所：第一専攻科 ホール・図書室・実習室

法話を通して看護を考えるという目的から、浄土真宗本願寺派 正覚寺 根本雄司住職より、「仏教における緩和ケア」というテーマでお話をしていただきました。

*緩和ケアとは

「緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族の一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」

（「市民に向けた緩和ケアの説明文」特定非営利活動法人日本緩和医療学会 2014）



「仏教は、生きている私たちが前を向いて生きていくことである。苦痛は救えるが苦悩は救えない。命を救う、人間を救うことはできない。少しでも苦悩を除くことができるよう説いていくことである。死を意識すると生かされて生きていることに気づく」という生と死について深く考えさせられる根本住職の法話でした。